

柳井 真吾 議員



ヘルプマークとヘルプカードについて問う

答

配布を予定しており、普及啓発も図っていききたい

プカード、ポスター、パンフレットを配布予定である。

議員

県では、平成30年度より障がい福祉政策としてヘルプマークとヘルプカードの普及啓発を推進している。守谷市やつくば市では、昨年度から配布がされているが、当市では行われていない。その理由は、

保健福祉部長

常総市障がい者プランの施策の基本項目において、障がい者に優しい福祉まちづくりを目標に定めており、日常生活の困った場面や災害時において配慮が必要なことを知らせるヘルプマークとヘルプカードについて、必要性を感じており、導入の検討をしていた。

議員

今後、ヘルプマークとヘルプカードの配布予定はあるか。

保健福祉部長

県では今年度にヘルプマーク、ヘルプカードの普及啓発の推進を図るため、実施計画を作成し、6月上旬にヘルプマークとヘル

議員

具体的にいつから、どこでどのように配布するのか。

保健福祉部長

早急に市民の皆様へ広報等で知らせるとともに、担当課である社会福祉課、保健センター、社会福祉協議会の窓口で配布を予定している。また、ヘルプカードについては、ホームページからもダウンロードできるような形にしたい。さらには、窓口への来所が困難な方に対して、郵送での配布も検討をしている。

議員

心のバリアフリー推進の上からも、学校教育現場においてヘルプマークとヘルプカードの学習を行うてはどうか。

教育委員会教育長

この学習の機会を積極的に設定することは、多様性を認め合い、共存社会を担っていく子どもたちにとって必要であると考える。



通学路の安全性について問う

答

安全性確認の改善と危険箇所確認、対策を実施する

議員

当市における現状の通学路の安全性の確認はしているのか。また、安全性について問題はなにかを伺う。

教育委員会教育部長

常総市通学路交通安全プログラムを策定し、関係機関と連携し、各学校で学区内通学路を調査の上、合同点検後に問題箇所に応じた対策を講じている。

議員

事例箇所の通学路は、安全性に問題がなかったのか。

学校教育課長

基本的には安全性に重大かつ緊急的な問題はない。課題が把握できている箇所、新たに課題が上った箇所は、スピード感をもって対応を進めていく。

議員

安全性を確認する上で、想定するリスクの抽出や分析、確認が不足していないか。

学校教育課長

様々な条件下の点検を行って

議員

リスクアセスメント等、客観的にリスク分析・評価を行い、ランクづけをして確認精度をあげてほしいと思う。

学校教育課長

通学路の安全点検は、分析方法、確認精度向上を含めて、今後の課題として連携する関係機関と対応方法について十分協議を行っていく。

議員

事例箇所の対策はいつになるのか。

教育委員会教育部長

年度内に回答できるような、できる限り早急に行なっていきたい。

議員

事故の未然防止は日頃からの積み上げが大切で、安全安心のまちづくりに繋がると思う。今後の早急なる対応をぜひともよりしく願いたい。

石塚 剛 議員